

大阪における実証実験の実施支援実績

[2018 年度]

大阪府、大阪市、大阪商工会議所

※大阪商工会議所事務局がエントリーを受けたもの

1. ICT 技術を活用した地下河川構造物に対する点検手法の検証

株式会社パスコ（本社：東京都、代表取締役社長：島村秀樹氏）から希望があり、寝屋川水系の地下施設「三ツ島調節池（門真市）」、「中鴻池調節池（東大阪市）」で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2018年8月27日、28日

②概要：点検が困難な地下河川構造物について、ドローンや各種レーザ計測機器、カメラ画像解析技術等を用いて計測・分析した。



③今後：実証を通じて収集した計測データをもとに、点検が困難なインフラ施設の新たな点検手法として、適用の可能性の検討に役立てる。

2. 「中之島チャレンジ」における移動ロボットの自動走行技術実証

株式会社プロアシスト（本社：大阪市、代表取締役社長：生駒京子氏）から希望があり、中央公会堂及び中之島図書館周囲の歩道で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2018年9月23日、24日

②概要：中之島で実施する移動ロボットの屋外走行実験「中之島チャレンジ」において、5チーム6台の移動ロボットが、定められたコースを時速4キロメートル以下で自動走行した。



③今後：実証を通じて収集した走行データをもとに、人が往来する環境における移動ロボットの自動走行技術の開発に役立てる。

3. 超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システムに関する実証

株式会社ダイヘン（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：田尻哲也氏）から希望があり、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2018年12月10日～2019年1月31日

※2018年10月29日～11月2日にプレ実験を実施

②概要：超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システムと超小型電動モビリティを大阪城公園内に設置。公園内の巡回や設備の確認、点検等に利用することで、車両の消費電力、充電の頻度や時間、バッテリー残量等を計測・分析した。



③今後：実証を通じて得られたデータをもとに、充電頻度を上げることによる電池容量の削減可能性等の検証に役立てる。

4. 水道使用量データを活用した「見守り・ヘルスケアサポート」の導入に向けた実証

愛知時計電機株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：星加俊之氏）から希望があり、大阪市水道局と協議のうえ、両者の共同研究として、大阪市内において実証実験ができるよう調整、支援した。

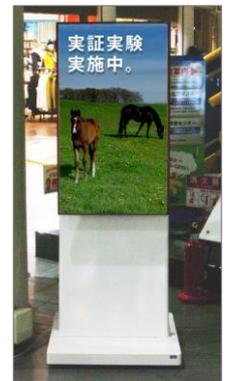
- ①実施日：2018年12月中旬～2020年3月(予定)
- ②概要：見守り・ヘルスケアサポートの構築に向け、住之江区足立地区の独居高齢者を中心とした30世帯にスマート水道メーターを設置し、水道使用量データの収集、並びに、AIを活用した分析を行った。
- ③今後：実証を通じて得られたデータをもとに、異変検知手法の研究・検証を行い、見守り・ヘルスケアサポートの構築に役立てる。



5. デジタルサイネージを使った集成的視線推定システムに関する実証

大阪大学 大学院情報科学研究科・菅野裕介准教授から希望があり、アジア太平洋トレードセンター（ATC）で実施できるよう調整、支援した。

- ①実施日：2018年12月15日～24日
- ②概要：施設やイベント案内などを目的に設置されているデジタルサイネージに視線推定システムを組み込み、人が行き交う実際のサービス現場での視線推定が可能かを検証した。
- ③今後：実証実験を通して得た評価をもとに、広告・マーケティング分野での実用化に取り組む。



6. 大阪上本町駅周辺でのデジタル地域通貨の実用化に向けた実証

近鉄グループホールディングス株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：吉田昌功氏）が株式会社三菱総合研究所と連携して実施する実証事業において、実証事業検討チームとの連携の希望があり、大阪市の国際交流拠点施設である大阪国際交流センターの飲食施設「ビュッフェ レストラン ラッフィナート」が参加施設となるよう調整、支援した。

- ①実施日：2019年2月1日～28日
- ②概要：総務省の「行政や公共性の高い分野におけるブロックチェーン技術の活用及び社会実装に向けた調査研究」に協力し、大阪上本町駅周辺エリアにブロックチェーン技術を活用したデジタル地域通貨を導入することで、プレミアム付商品券のデジタル化による地域経済活性化の可能性について検証した。
- ③今後：利用者の声を収集し、実用化に向けて開発・活用を推進する。

7. ドローンを用いた低層大気の気象観測に関する実証

日本気象株式会社（本社：大阪市、代表取締役：鈴木正徳氏）から希望があり、大阪城西の丸庭園で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2019年2月25日

②概要：ドローンを複数回にわたって地表から高度150mまで垂直飛行させて各高度における気象データ（気温・湿度・風向風速・気圧）を取得し、都市大気の特徴を把握するために必要な最小限の飛行高度を検証した。



③今後：取得したデータをもとに、将来の定期観測の基準策定に役立てる。

8. ドローンを用いた画像解析システムに関する実証

株式会社ミライト・テクノロジーズ（本社：大阪市、代表取締役社長：高畠宏一氏）と株式会社NTTファシリティーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：一法師淳氏）から希望があり、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2019年3月15日～4月15日

②概要：大阪城公園において、①画像から不審物を自動抽出する「園内の巡回点検」、②複雑な形状の石垣を高解像度で3次元モデル化する「城郭石垣の精密撮影」、③複数個所上空からの斜め撮影画像をもとに現状の地形や建物を立体的に把握する「大阪城公園・天守閣の3次元モデルの作成」の実証を行い、巡回点検稼働の削減や視点を変えた点検、災害時の状況把握、復旧計画の立案などに役立てた。



③今後：実証結果を踏まえ、ドローンを活用したサービスの開発を目指す。

9. 次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の実証

関西電力株式会社（本社：大阪市、取締役社長：岩根茂樹氏）から希望があり、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

①実施日：2019年3月17日～21日

②概要：大阪城公園において、「日本伝統文化×時速5キロメートル」をテーマに、低速で移動するモビリティ「iino」上で日本伝統文化に関するコンテンツ（茶、日本舞踊、三味線）に関するパフォーマンスを実証した。



③今後：観光地での外国人観光客に向けた新たなサービスの開発を目指す。

以上